

# 江南 区

緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち



## 区の特徴

江南区は、信濃川、阿賀野川、小阿賀野川の三つの河川に囲まれ、豊かな水辺空間、広大な田園が広がっている一方、製造業などの多くの企業や大型商業施設が立地するなど、豊かな自然環境と都市機能が調和しています。また、国の登録有形文化財の北方文化博物館があるほか、神楽や木遣りといった郷土芸能が伝承されているなど、歴史と文化が感じられるまちです。

## 区の概要

### ① 地勢

本市のほぼ中心に位置しており、東を阿賀野川、西を信濃川、南を小阿賀野川が流れ、北を日本海東北自動車道と接しています。亀田、横越、曾野木、大江山、両川の5つの地区で構成されており、豊かな自然と都市機能の調和が図られています。

土地は平坦で海拔ゼロメートル地帯が多く、かつては「地図にない湖」と呼ばれていましたが、河川改修や土地改良事業により、広大な優良農地へと生まれ変わりました。

### ② 産業

高速道路のインターチェンジ周辺や主要幹線道路沿線には、大型商業施設があるほか、食品製造業をはじめとした多数の企業が立地する工業団地が整備されています。

広大な農地では、稲作のほか、なす、梅、梨、いちご、とうもろこしなど多様な農産物を供給する都市近郊型農業が営まれています。

新潟市中央卸売市場やその関連施設では、鮮魚、野菜、果樹、花きなどの生産と消費を結び流通拠点として重要な役割を担っています。



北方文化博物館(大広間)

### ③ 交通

高速道路は、磐越自動車道、日本海東北自動車道が通り、新潟駅などの主要な交通結節点\*へは幹線道路で結ばれています。

公共交通はJR 信越本線で市内中心部へ移動できるほか、亀田駅を中心として路線バス、区バス\*、住民バス\*が各方面に運行されています。

また、整備中である新潟中央環状道路とJR 信越本線との交点に、(仮称)江南駅を設置する計画が進められています。

\*交通結節点 … バスのほか、電車やタクシー、自動車、自転車などさまざまな交通手段の接続が行われる乗り換え拠点。

\*区バス …… 区制導入に伴い区役所への移動など新たに生じる移動ニーズに対応することを目的に、区が運行計画を立案し、交通事業者に委託して運行する乗合バス。

\*住民バス …… バス路線の廃止問題を抱える地区や公共交通空白・不便地域において、地元住民組織が主体となって運営する乗合輸送サービス。

## 区の将来像

### 緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち

#### 目指す区のすがた

##### 自然環境と都市機能を活かした快適に暮らせるまち

- 緑豊かに広がる田園風景と信濃川、阿賀野川、小阿賀野川を結ぶ水と緑のネットワークづくりやその活用を図ります。また、自然と共生した環境にやさしいまちを未来の世代につなぐため、資源循環型社会の実現を目指します。
- 道路や公園などの社会資本を的確に整備・維持管理し、さらに有効活用するとともに、公共交通など人と物が移動しやすい環境形成を進めます。また、地域の課題解決や活性化につながる土地利用を促進し、持続的に発展するまちづくりを進めます。



新潟中央環状道路 横越バイパス

##### 人と人とのつながりを大切にする安心安全なまち

- さまざまな自然災害に備え、自治会・町内会、自主防災組織などと連携し、区民一人ひとりが適切な行動がとれる災害に強いまちを目指すほか、区民、警察、関係団体などと連携し、交通安全・防犯意識の向上を図るなど、安心安全な地域づくりを進めます。
- 人と人、活動と活動をつなぐネットワークづくりや気軽に立ち寄れる交流の場づくりなど、みんなでささえあい、だれもが住み慣れた地域で健やかに安心して暮らせるまちを目指します。



こうなんふれ愛まつり

\*協働 … 市民と行政が、対等な関係で相互の立場や特性を理解し、目的を共有し、連携・協力すること。

## 区ビジョン基本方針

### 産業と地域の魅力が輝くまち

- 魅力ある農産物をはじめ、伝統産業の亀田縞、新たな工業団地など、農商工それぞれの特性を活かした、持続可能な産業の形成を目指します。
- 区内商業地の拠点である亀田地区の賑わいづくりを進めるとともに、各地区が連携し、区全体の地域商業の活性化を目指します。
- 更なる企業誘致や農商工\*・農福連携\*による新たなビジネスの創出、若者のUターン就職に向けて取り組むなど、雇用機会の拡大を目指します。



機械によるキャベツの苗植え

### 人が輝き文化が育まれ健やかに過ごせるまち

- 将来を担う子どもたちの健やかな成長に向けて、学校と家庭、多世代にわたる地域住民との連携により、教育力の向上を図ります。
- 江南区が有する素晴らしい歴史や伝統を後世へ継承し、文化などに触れる機会を提供するとともに、気軽にスポーツを親しむ環境づくりを進めるなど、地元を誇りや愛着を持ち、多様な個性が発揮できる生涯にわたり人が輝くまちを目指します。



稲作体験

### 区民が主役となる協働のまち

- 地域課題解決に向け、区自治協議会、地域コミュニティ協議会、自治会・町内会をはじめ多様な主体とともに互いの強みを活かし、相互連携を深めることで、区民が主役となる協働のまちづくりを進めます。
- 区民の視点に立って迅速・丁寧に対応するとともに、情報発信を強化し、親しみやすい区役所づくりを進めます。



区自治協議会でのワークショップ

- \*農商工連携 …………… 地域の基幹産業である農林水産業、商業、工業等の産業間での連携。
- \*農福連携 …………… 障がい者などが農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組み。
- \*Uターン …………… 地方に生まれ育った人が、都市圏への進学や就職を経た後、再び地方の生まれ故郷に戻ることに。
- \*区自治協議会 …………… 分権型政令市を実現し、市民と市との協働によって市民自治の推進を図るために、地方自治法に基づき各行政区に設置する市長の附属機関。本市の政令指定都市移行と同時に、8つの区に設置した。
- \*地域コミュニティ協議会 …… 市民と市が協働して地域のまちづくりや、その他の諸課題に取り組む、市民自治の推進を図るため、概ね小学校区を基本単位として、自治会・町内会を中心にさまざまな団体等で構成された組織。